

庁舎建設に伴うまちの交流拠点エリア（まちのリビング+筑後テラス等）に関するパブリックコメント 意見募集結果

1. 意見募集期間 : 令和8年4月19日（日）～令和8年5月22日（金）
 2. 公表場所 : 市ホームページ、市役所本庁舎総合案内窓口、市立図書館、庁舎建設推進室窓口
 3. 意見提出数 : 8件（8人） 4. 意見提出方法の内訳 : 持参0人、電子申請4人、電子メール1人、市民説明会3人
 寄せられた意見と、それに対する市の方針を一覧表にして掲載します。

No.	ご意見の内容（原文）※表現を一部修正しております	市の考え方
1	<p>* カフェについて、10:00～16:00の時間帯に、カレーやホットサンドなどの軽食と飲み物ができるようにしてほしい。</p> <p>* 市民交流ホールで、市民向けセミナーやミニコンサートなど、今のサンコアロビーで行っているようなものがあると良いと思います。ただ、音の問題などがあるため、ガラス壁など中も見えるが、音は遮断できるようなものがあると良いなと思います。</p> <p>* 展望テラスは、土日祝を含む日中に使えるようになれば、休みの日に市外の人をつれて来ることできるのでは？ また、富士市の展望テラスには、婚姻届を出した人が鳴らせるカネやカギをつけれる所があった。 恋のくにを象徴できるようなスペースを創って、婚姻届、出生届を出した方の記念となるようなスペースをつくってはどうか。</p>	<p>* 頂いたご意見を踏まえ、引き続き検討していきます。</p> <p>* 市民交流ホールの屋外に面している箇所は、ガラス張りで、屋内に面している箇所は、稼動間仕切りの壁になります。どちらも、防音性があるものを使用します。</p> <p>* 新庁舎が閉庁日であっても市民の皆さまや市外からの来訪者で賑わう空間となることは、地域の活性化にとっても重要であると考えます。セキュリティや維持管理の面を考慮しつつ、休日の部分開放や動線計画について検討します。また、『恋のくに』を活かした記念スペースのご提案につきましても、婚姻届や出生届を出された方々にとって記念となるような活用を検討していきます。</p>
2	<p>まちカフェについて、 利用したい時間→8時半から19時 必要な設備→まちカフェ 運用方法→筑後市にランチやカフェの場が少ないため需要はあると思います。コメダ珈琲やスターバックスなどは子供連れには騒音など気になり利用しにくいです。ランチ、軽食、デザート、ドリンクを提供して欲しいです。子連れが行きやすい様な座敷やソファ一席もあればありがたいです。 カフェ利用を目的に市役所に行く人が増え、市役所の活動やその他イベン</p>	<p>新庁舎に導入を検討している『まちカフェ（飲食スペース）』は、小さなお子様連れの方でも周囲に気兼ねなく、安心してランチや休憩ができる場となるように、ソファ席の設置、利用しやすい時間設定など、頂いたご意見を踏まえ、引き続き検討していきます。</p>

<p>トなどの広報もしやすい。他の市町村からの来客者が筑後市に移住したいと思うきっかけにもなり、税収の増加・街の活気にもつながります。よろしくおねがいします。</p>	
<p>3 市民のための多目的に活用できる空間を考えられていて、とても良いなと思います。</p> <p>その中でも私が気になったのは、学習スペースをもっと広くしてほしいということです。</p> <p>なぜなら、私自身が多くの中学生や、高校生から聞くことが多かったのが、「勉強できるスペースが、市内にもっと欲しい」という声でした。「放課後や週末などに来れたら良いのに」ということを言ってくれる子たちもいました。学校が終わって、塾が始まるまでの時間や、様々な家庭の事情で家では集中することができない子が、安心して滞在することができる場所が、市役所にあってほしいです。</p> <p>そして、その場所は、明るく、大人の目もあることが大事だと思います。監視という意味ではなく、同じ空間に大人がいてくれることが安心と安全の環境を生むからです。そして、子どもたちの目に、お仕事を頑張っている大人が映ることは、子ども自身が将来の大人像を想像する上で、とてもいい効果になると思います。</p> <p>併せて、社会人のコワーキングスペースとしての機能を兼ね備えられていたら、その同じ効果も得られると思うので良いなと思います。</p> <p>電源や、インターネット環境も、可能な限り備えられていてほしいです！</p> <p>以上のような思いを持って図面を見たときに、もう一つ感じたのは、図書スペースはこんなに必要だろうかという疑問です。すぐ隣に市立図書館もあるし、アウトリーチもされているので、新しい庁舎に改めて図書スペースが必要だと感じません。それよりも、昔のままのサンコアと建て増しの図書館そのものを、建て替える計画を望みます。…いつかできたら良いなと思っています。</p> <p>子育てラウンジは、良いなと思います。声を出してもいいスペースだと思</p>	<p>新庁舎が、中学生や高校生など若い世代にとっても『放課後や休日に安心して過ごせる居場所』となることは、郷土への愛着を育む観点からも重要であると認識しております。ご意見の電源やインターネット環境を備えた学習スペースの充実や、社会人が活用するコワーキングスペースとの共存については、お互いにとって良い刺激となる環境づくりを目指し、実施設計で検討していきます。</p> <p>また、その他のスペースの有効活用についても、頂いたご意見や、これまでに頂戴したさまざまな意見等も踏まえ、引き続き検討していきます。</p>

	<p>うので、絵本の読み聞かせなどの図書館イベントはそこで定期的を開催するなどして、</p> <p>学習ラウンジは、原則静かに過ごす場所としてすみ分けをして、それぞれの場所を必要とする世代を分けて考えてほしいと思います。</p> <p>10代の若い子どもたちにも、筑後市を好きになってほしいと思います。例えば、出ていったとしても帰ってきたくくなるような、筑後市にしてください。子育て世代や、高齢者だけでなく、子どもや若者を大事にする姿勢を、見せてほしいと願っています。</p>	
4	<p>【カフェ】</p> <p>① メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の特産品（農産物、伝統工芸品など）を活用したオリジナルドリンクや軽食。 ・「筑後」のブランドを感じさせる季節限定のスイーツ、八女茶、地元で焙煎した豆を使用したコーヒー、ハーブティー（ノンカフェイン含む）。 ・職員や来庁者が手軽に利用できる日替わりプレート・ヘルシーランチボックス、季節のスープ。 ・おにぎり・サンド・ベーグル・焼き菓子・ソフトクリーム等 ・庁舎利用者向けに「短時間で提供できる」セット ・低アレルギー表示、ベジ対応、糖質控えめ、キッズメニュー等 ・防災・非常時の視点として、非常時に温食提供へ切替可能なメニュー（レトルト活用、炊き出し対応） <p>② 雰囲気・設備機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材を多用した落ち着きと温かみのあるデザインで、開放感のある吹き抜けや自然光を重視した大きな窓を配置し、一人用のカウンター席（電源・Wi-Fi 完備）と、ベビーカーを横付けできる広めのソファ席を設けるとともに、音環境に配慮（市民交流ホールの音が干渉しないような吸音設備等）する。 ・シンク等の厨房設備、カウンター等については、車イス使用者が利用で 	<p>多くのご意見ありがとうございます。頂いた内容は、市民の皆様の多様なお考えの一つとして承ります。</p> <p>なお、設計変更を伴うものや各種専門設備の追加設置などのご要望につきましては、対応いたしかねますので何卒ご了承ください。</p>

きるようにする。

③ 時間帯

・平日：8:30～18:00（朝のコーヒー需要から夕方の市民活動、放課後の自主学習まで対応）可能であれば、22:00まで営業。

・休日：10:00～17:00（イベント開催時は延長営業）。

④ 運営

・（社福）筑後わかたけ福祉会などの地元の障害者就労支援事業所との連携や起業家育成を兼ねた「チャレンジショップ」形式。または、民間事業者へ委託する。

【市民交流ホール】

① イベント

・地域団体による音楽コンサート、講演会、市民大学、映画上映会。
・屋内型マルシェや物産展、就職フェアなどの大規模な集客イベント。
・“来た人が参加できる”仕掛けとして、ボードゲーム・囲碁・将棋・読み聞かせ会・ミニ講座等の開催。

② 活動

・ダンス、ヨガ、合唱、演劇等の練習、手話サークル、軽スポーツ、災害時の一時避難場所としての機能。
・可動式パーテーションを用いた、小グループでのサークル活動。
・防災講習、備蓄展示、避難所運営ゲーム（HUG）など防災体験活動。

③ 設備

・機材貸出（マイク、スクリーン、プロジェクター、可動椅子、簡易ステージ）。
・防音・遮光・収納など多用途に対応できるようにする。

【学習スペース・図書コーナー】

① 学習スペースの機能

・集中して勉強や仕事ができる「サイレントゾーン」と、会話可能な「グループ学習ゾーン」を分離する。

・オンライン会議やWEB授業に対応したWi-Fi設備、防音性の高い個別ブースを設ける。

・車いす利用動線、見やすいサイン、拡大読書器等の導入等によるユニバーサル対応とする。

②図書コーナーのジャンル

・郷土資料、行政資料、最新のビジネス誌・ライフスタイル誌。

・子育て支援情報、防災関連書籍、市民がおすすめ本を共有する「みんなの本棚」を設ける。

【ギャラリースペース】

①魅力発信

・地元のアーティストや学生による作品展示、伝統工芸品（久留米絨、花ござ等）の常設・特別展示する。

・市の歴史や未来像を映し出すデジタルサイネージを活用した視覚的な情報を発信する。

・（社福）筑後わかたけ福祉会による障害者アート「くすのもりアート展」を開催する。

・「まちのショーケース」として常設展と企画展を組合せ、展示替えを定期化し、告知しやすいサイクルで展示する。

【協働会議室】

①イベント

・NPO法人や市民活動団体の定例会、ワークショップ、起業相談会、フューチャー・デザイン（未来設計）会議。

・産官学連携のプロジェクト会議や防災・福祉の連携会議（要配慮者支援、福祉避難所、見守り体制など“顔の見える関係”づくり）、域課題解決のため

め未来・将来・今後を語る「たまりば」、NPO・ボランティアセンターの設置。

②時間帯

・9:00～22:00（仕事帰りの市民が利用できるよう、夜間も開放）。可能であれば、24時間利用可能とする。

③運営

・公共施設予約システムによる事前予約制。一部、スマートロックを活用した無人運用によってコストを削減する。

・備品として、可動機椅子、モニター投影設備、ハイブリッド会議機材、ホワイトボード、掲示版等を備える。

【筑後テラス・ガーデン・展望テラス】

①筑後テラス活用

・カフェと連動した屋外飲食スペース、青空市、小規模なアコースティックライブ、音量や近隣に配慮した夕暮れミニコンサートなどを開催する。

②ガーデンの活用

・四季折々の草花を楽しめる散策路、子ども向けの遊具、障害者作業所等によるキッチンカーの出店スペース。

・市民がガーデニングに参加できる「エディブルガーデン（家庭菜園・ヒーリングガーデン）」体験コーナーを設ける。

③展望テラス

・筑後平野や山々を一望できる展望スポット、夜景を楽しめるベンチを設置し、天体観測会を開催する。

・脊振山地・耳納山地ではなく、釈迦岳・筑肥山地・雲仙岳が展望できるテラスを一般市民に開放する。

【その他】

・総合案内は、手続き案内だけでなく、イベント・施設利用・観光・移住

	<p>相談の一次受付等ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ・ファミリーに配慮したキッズトイレ・キッズスペース・授乳室を充実（おむつ替え台、調乳用温水機）させる。 ・公衆Wi-Fiの全域整備と、非常用電源を確保したスマートフォンの充電ステーションを設置する。 ・筑後市指定の全ての金融機関のATMを設置する。 ・「おくやみコーナー」等の行政窓口に近い場所に、プライバシーに配慮した相談ブースを併設する。 ・コミュニティFM放送局を設置する。「FM八女」と連携し、サテライトスタジオを設け、日常の市民交流情報を提供するとともに、災害時の情報発信源としての役割を確保する。 ・無人レンタル自転車ステーションを併設する。 ・市議会が市民に身近になるような傍聴席のバリアフリー化、親子傍聴席の設置、インターネット中継設備の充実。 ・日頃から駐車場をオートキャンプ場として、災害時には、車中泊避難場所として活用できるようシャワー設備設置。 ・カフェスペース、市民交流ホール、学習スペース、ギャラリー、協働会議室、筑後テラス、ガーデン、展望テラスなど、全体を一体的に活用した市民交流福祉啓発イベント「ふれあいひろば」を開催する。 ・24時間、いつでも安心して利用できる「屋外公衆トイレ」を設置する。市民交流イベントを開催した場合、庁舎内の市民が利用できるトイレだけでは、不足することが想定される。 	
5	<p>筑後市では現在、「地域共生社会づくり」や「支え合いの地域づくり」、「生きがいくりと介護予防」、「デジタル化」などに力を入れられており、そうした方向性はとても大切だと感じています。</p> <p>その中で、子どもと高齢者が自然に集まり、自由に過ごせる「多世代フリースペース（居場所）」があると、筑後市らしい地域共生の形につながるのではないかと思います。意見を述べさせていただきます。</p>	<p>新庁舎は、手続きを行うためだけの場所ではなく、市民の皆さまが気軽に集い、交流できる「まちの交流拠点」となるよう進めております。頂いたご意見を踏まえ、引き続き検討していきます。</p>

現在、暑さにより子どもが放課後などに外で遊べる環境は減っており、学校や家庭以外で安心して過ごせる「第三の居場所（サードプレイス）」の必要性を感じています。※児童館や社会福祉協議会 1F がイメージと近いかもしれません。

また、不登校や孤立など様々な課題がありますが、実際には理由や背景は一人ひとり異なり、「不登校児向け」「高齢者向け」など、対象ごとに分けた支援だけでは対応が難しい場面もあるように感じています。

そのため、対象を分けた相談や支援だけでなく、

- ・誰でも自然に立ち寄れること
- ・人との関わりの中で自分の居場所を見つけられること
- ・子どもや高齢者自身が役割や主体性を持てること

も、これからの地域づくりにおいて大切ではないかと思います。

近年は、子どもを「守られる存在」だけではなく、一人の主体的な個人として尊重する考え方も重視されていると感じています。

そのため、一方的に支援を受ける場所ではなく、子ども自身も「ここに居たい」「誰かの役に立てた」と感じられる場所づくりが重要ではないでしょうか。

例えば、私の子どもは学童で地域のお年寄りから将棋や昔遊びを教えてもらい、交流を楽しんでいます。昔の暮らしや遊び方など、家庭や学校だけでは得られない学びも多くあります。

一方で、ファミリーレストランなどで、高齢者グループのタブレット注文を子どもが自然に手伝っている場面もあります。

このように、子どもは「支援される側」だけではなく、高齢者にとっても頼れる存在になれると思います。

世代を分けて支援するのではなく、自然に同じ場所で過ごすことで、お互いに支え合う関係が生まれるのではないのでしょうか。

また、場所については、市役所など認知度の高い公共施設内にあることに意味があると思います。

市役所は子どもから高齢者まで多くの人々が利用するため、「困った人だけが行く場所」になりやすく、必要な人へ自然に情報が届きやすいと感じています。

実際にその場へ来ることで、

- ・利用できる制度を知る
- ・相談先につながる
- ・地域との接点ができる
- ・孤立予防につながる

など、必要な支援へ自然につながるきっかけにもなると思います。

私自身も行政の支援について、主任児童員となり初めて知ったことや、まだ知らないことがあると感じています。

また、行政が全てを細かく管理・運営するのではなく、

- ・場所を提供する
- ・最低限の安全対策を整える
- ・必要な情報発信を行う

ことを基本とし、利用者自身が自由に過ごし、関わり、自分の役割を見つけられる仕組みがあると良いのではないのでしょうか。

例えば、自由に立ち寄れる環境の中で（行けば参加できる、講座の様子が見えるなど）、防災、防犯、スマホ操作、サイバー犯罪対策など、子どもや高齢者に必要なテーマを気軽に学べる機会があることで、無理なく人が集まりやすくなると思います。

安全面についても、防犯カメラ設置など最低限の安全対策を行うことで、子どもや高齢者、保護者も安心して利用しやすくなると感じています。

このような場所は、単なる福祉施策ではなく、将来の地域づくりや人材育成にもつながると思います。

子どもにとっては、学校だけでは得られない多世代交流や様々な経験を通じて、経験格差を減らし、将来の選択肢を広げるきっかけになると思います。

	<p>また、高齢者にとっても、「支援される側」だけではなく、自分の知識や経験を地域へ還元し、誰かに必要とされることが、生きがいや健康維持、介護予防にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>行政にとっても、市民同士が自然につながり、自立や支え合いにつながる仕組みを作ることは、持続可能な地域づくりや、将来的な孤立予防・介護予防にもつながるのではないかと思います。</p>	
6	<p>筑後市内に多くの市民ボランティア団体・NPO 法人等、市民の生活を支える活動を積極的に取り組みまれています。</p> <p>この庁舎の中に一部屋でもボランティアの拠点となる場所があれば、さらに活動が活発化されると思います。よろしくお願い致します。</p>	<p>ボランティアの拠点となる専用室は設けることは出来ませんが、新庁舎には、1F に交流ホール、3F に協働会議室（大会議室）を設けますので、公共施設の貸し会議室として、市民ボランティア団体・NPO 法人等の方もそちらをご利用ください。</p>
7	<p>そもそもの話になりますが、市役所とは何をすることでしょうか。計画されているような交流施設が必要でしょうか。市役所とは様々な諸手続きをすることで、気軽に遊びに行くようなところではないと考えます。プライバシーの問題もあるし、交流施設ならほかにありますし、図書室も別にあります。わざわざ市役所内にスペースを持ってきて中途半端になるのではないのでしょうか。市役所とは諸手続きが円滑に進み、職員の方が滞りなく職務ができればいいのではないのでしょうか。余分なスペースは建設費の圧迫になります。そんな余裕が筑後市の財政にありますか？無駄は省いて機能的な面を重視するべきではないのでしょうか。余裕とか交流とか耳障りはいいですが勘違いされていませんか？そんなスペースより防災に関する項目が見えてきませんがどうなっているのでしょうか。防災倉庫を作ればいいというわけではないと思いますが。万が一の災害の時に市役所がどう機能するのか見えてきません。基本設計だから実施設計にあたっては方針転換も可能ですよね。一部の頭の中お花畑の方たちの意見で進めるより、もっとかっちりとした市役所の建設を強く求めます。</p>	<p>庁舎建設事業では、筑後市の将来に望ましい新庁舎を目指すため、これまで市民アンケートやワークショップなどを実施し、市民の皆さまからご意見を頂いてきました。その中で、多くの市民の皆さまから「子どもからお年寄りまでが気軽に立ち寄ることができ、交流が生まれる場所」を求める声をいただいたことを踏まえ、新庁舎を「単なる行政手続きの場」ではなく、基本理念を「人と未来をつなぎ、夢をつむぐまちの交流拠点」と設定いたしました。そして、この基本理念を実現するために、市民の皆さまから出たご意見を反映した「まちの交流拠点エリア」の構築を目指すことを、市議会の賛同もいただき決定したところです。</p> <p>なお、「まちの交流拠点エリア」の各スペースは、交流するためだけのスペースとするのではなく、時間帯や状況によって多目的に活用をしていくことで、効率的で無駄のないコンパクトな新庁舎の実現を目指しています。</p> <p>また、災害発生時には、地域のインフラが途絶えたとしても、災害対策の指令本部として、新庁舎が7日間機能持続できるよう整備を行います。その上で、災害の規模や特性に応じて災害対応を行います。</p>
8	<p>本市には図書館が必要と思う。文化施設が少ない中、ぜひおねがいします。</p>	<p>市民の安心・安全を支える防災拠点となる新庁舎建設を最優先で進めさせていただきます。</p>